

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	緑内障術後の網膜皺襞と視機能との関連性についての検討
研究責任者氏名	田片 将士
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	研究実施許可日 ～2030年3月31日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：緑内障 / 診療科名等： 眼科
	受診日：西暦2016年3月1日～研究実施許可日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他（ ）
	取得の方法： <input checked="" type="checkbox"/> 診療の過程で取得 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究目的・意義	緑内障手術により眼圧が下降した症例の中には、術後に網膜にしわが残ることがあります。網膜のしわは臨床的にはゆがみや視力低下の原因となると報告されていますが、実際の医療現場では自覚症状を認めないことも少なくありません。この研究の目的は緑内障術後に生じる網膜のしわと視機能との関連について検討し、緑内障術後の視機能変化の理解を深めることで、今後の臨床診療に役立てます。
研究の方法	2016年3月1日から2025年10月1日までの間に兵庫医科大学病院で緑内障手術を施行された方のうち、当院にて6か月以上の経過観察でき、かつ手術前に網膜の病気がない方を対象として後ろ向きに検討を行います。診療録より以下のデータを収集します。手術前および手術後の網膜構造（光干渉断層計、眼底写真）、視力、屈折、視野感度、角膜形状解析、濾過胞および周辺眼球形状のOCT（網膜光干渉断層計）画像、前眼部写真、眼軸長、前房深度、薬剤スコア、合併症、また、患者背景として年齢、性別、緑内障病型、水晶体の状態、白内障同時手術の有無について2016年3月1日から研究実施許可日までの間のデータを収集します。得られたデータはパソコンを用いて解析を行い、網膜のしわの有無や程度が視機能へ与える影響について後ろ向きに解析

	します。
個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：眼科学教室 担当者氏名：田片 将士 [電話]（平日 9～17 時 15 分） 0798－45－6462 （上記時間以外） 0798－45－6111